

住民懇談会のファシリテートをしました

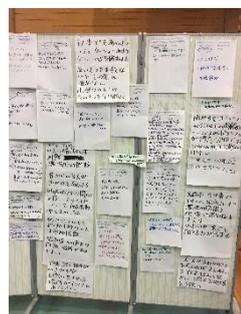
愛知県東浦町で行う住民懇談会のファシリテートをしました。テーマと進め方はすべて同じとして、全6回、6地区で行われました。参加者によって、こんなに内容が異なるということを実感しました。

☆住民懇談会

町長さんの意向で毎年開催されている「住民懇談会」。今年は3回目です。今年は、自治の機運を醸成していきたいという中で、住民のみなさんに自治を自覚していただくこと、テーマを「みんなで支えよう地域福祉」として、地域のみなさんが地域福祉を通して自助、共助、公助について考えるという会でした。

☆進め方は

ごあいさつからはじまり、担当課の課長からの地域福祉の現状の説明、その後、参加したみなさんにご意見やご自分でやっていること、こんなことしたら？のアイデアなどを用紙に書き込み、「自分でできること、地域でできること、行政がやること、その他」に○で囲んでもらいました。その紙をパネルに貼って、意見交換会をしました。



☆出てきた意見は？

地域によって、本当にさまざまな声が出ました。地域や町の中で活用できるポイント制（時間預託に近いもののような）の創設のアイデアであったり、相談に乗り、乗ってもらえるボランティア団体ができていたり、もうすでに「自分たちのことは自分たちで決めて行動する」という自治の体制ができていました。

地域のみなさんのご尽力に驚くばかりでした。

最後には必ず、女性にお声をかけるようにしました。職業として地域福祉に関わっていらした方が、「地域の方のお話を伺って、仕事だけではなく、プライベートな時間でも考えてみようと思いました。」という感想をいただきました。

住民懇談会は、地域の方だけではなく、職員の方にも良い刺激になったようです。

☆「福祉とは福＝しあわせ＋祉＝さいわい⇒幸せ」ということを前提に懇談会を進めました。地方自治体が存在するのは、地域の住民、市民の方々の幸せのためなのです。原点に戻って、「そもそも」からひも解くと素敵な成果につながることを実感しました。